ベッドは、安眠と介助を共に満足させるために
使いやすく、寝心地のよいベッドをお選びください。

ベッドの選び方のポイント

①寝返り

●ベッドの幅やベッド柵が
大きな要素になります。
●ご利用者の能力や
寝返り方法に合わせて
ベッドをお選びください。



②ベッドからの起き上がり

●電動背上げ機能と柵を使って
起き上がりの動作をしやすくします。
●背上げ、膝上げ機能を使って
ずり落ちを防止します。
●柔らかいマットを使用すると
起き上がり動作を
阻害することもあります。



③立ち上がり

●背上げした状態から端座位をとり立ち上がる場合
ベッド柵が長いと邪魔になる場合があります。
●移乗バー等を使用して座位保持、
立ち上がりの補助をします。
●背上げ、膝上げ連動ベッドは
端座位が取りにくくなる
場合がございます。

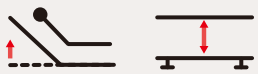


④寝心地

●マットレスの選定がポイントです。
●ご利用者本人の好みも大きく
床ずれや身体の動かしやすさを
考慮してお選びください。
●マットレスの硬さによって
座位姿勢や移動動作にも
考慮してお選びください。



ご利用者の状態に合わせた特殊寝台（介護用電動ベッド）の種類や機能

電動ベッドの種類	機　能	利用者の状態
1モーター電動ベッド 	ボタン操作による 「背上げ」ができる	ご利用者が自力での寝返り、手すりなどの支持物を使い床上（布団）から立ち上がり可能な方。
2モーター電動ベッド 	ボタン操作による 「背上げ」「高さ調節」が できる	ご利用者が自力では床上（布団）からの立ち上がりが不可能で、ベッドでは介助バーなどを使って自力で寝返りや立ち上がりをする。移乗のために高さの調節を必要とされる方。
3モーター電動ベッド 	ボタン操作による 「背上げ」「膝上げ」 「高さ調節」が個別に できる	ベッドからの起き上がる時に背上げ機能を使用し、介助バーなどを使い自力もしくは介助を受けて座位へ移行する方。臥床時の姿勢安定のための膝上げ機能、移乗や介助を受ける際の高さ調節機能を必要とされる方。
背と膝の上げ下げの組合わせがセットされた 3モーター電動ベッド 	ボタンひとつで体の ずれや圧迫感が減少し 姿勢のくずれにくい起 き上がり動作ができる	介助を受ける際や移乗のためにベッドの高さ調節が必要な方で、ベッド上での座位で体がずれないように背上げ機能や膝上げ機能を必要とされる方。